

誰にでも未来を創る

能力（ちから）がある

～まずは踏みだそう～



東日本震災という、これまで人類が経験したことのないような災害を経験した私たちは、復興に携わる人たちの中に自ら飛び込み、体当たりで「命を守る方法」「災害に対する科学的理解」「震災の教訓」を学んできました。また、全国の高校生との交流を通じ「高校生にしかできないこと」について話し合い、高校生の瞬発力を生かした活動にチャレンジしてきました。津波波高標識設置活動、被災地訪問、被災地支援のための募金活動。多くの人たちに支えられながら行ってきたこれらの取り組みは、みやぎの復興に大きなパワーを与えたと信じています。そして今度は、僕たちが皆さんを勇気づける番です。



西日本の高校生の皆さん、全力でこの困難を乗り越ってください。元気に挨拶を交わすこと、瓦礫を片づけること、被災者の目を見て話を聞いてあげること。どんなに小さなことからでも、僕たち高校生は人を元気にすることができます。この困難を共に乗り越えることで、僕たちは答えのみつからない難しい課題にも挑戦できる強さを身につけることができます。



「誰にでも未来を創る能力（ちから）がある」

僕たちは本気でそう信じています。高校生ができることはたくさんあります。失敗を恐れず、震災を“自分を変えるチャンス”に変えてゆけるよう、まず一歩踏み出してください。応援しています。僕たちは被災地の高校生として、共にみなさんと歩んでいきます。

宮城県多賀城高等学校 生徒会会長 小畑友哉

未来を創るための提言

～震災の教訓を生かすために～

- ① 被災の記録をなるべく多く残すこと（写真 映像 文書など）
- ② 高校生として災害弱者（高齢者 児童幼児 障がい者）に対し、支援の手を差し伸べること
- ③ 二度と同じような被害を出さないように、今回の被災から得られた教訓をまとめておくこと
- ④ 被災地から災害に関する情報を発信すること

多賀城高等学校生徒会執行部よりエール！

被災された西日本の
高校生の皆さん、
皆さんは1人では
ありません。共に
頑張ってください！
岩渕、笹



こんにちは!!
大変な状況だと聞いて
います。ですが、これを
乗り越えることで
得られることがあるはず
です。スピードも速くから
応援しています!
頑張ってください!
工藤・箭子

一日も早く皆さんが
元気になれるように
私たちも応援しています!
いっしょに頑張りましょう!!
小野寺、菅原

初めまして、こんにちは
みなさんは今、笑顔で過ごせて
いますか？ 私達も、東日本大震災
でたくさんのを失いました。
しかし、その経験は間違いない
これからの未来に活かされる
はずです。私たち高校生には
できることがたくさんあります。
これからもお互いに
頑張りましょう!!
岩佐 & 畑岡

皆さんこんにちは!
大変な日々が続いて
いると思いますが、
一緒に頑張りましょう!
応援しています。
堀内、山田